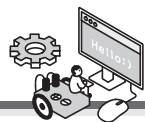


なんだこの見え方は？

—錯視の不思議—【ステージショー】



個人出展

青森県大鰐町立大鰐中学校 鳴海 博史

●どんなステージなの？

人はモノを見るとき「目」を使い「アタマ」で考えます。見えるはずのないモノが見えたとき、「なんだこの見え方は？」となりませんか。実は、そのモノ（絵や映像）に秘密があります。私たちのステージでは、「錯視」の現象をとおして、見え方の不思議を体験できます。

●体験のしかたとコツ

【体験のしかた】

動画やイラストを見て、どのように見えるか「錯視」を体験してみましょう。

- (1) 回転する映像を 30 秒間見てから、自分の手のひらを見るとどのように見えるでしょうか（図 1）。
- (2) 回転するバレリーナの映像を見つけていると、急に回転する方向が変わって見えることがあります（図 2）。
- (3) 赤いはん点のボードを 30 秒間見てから、そのあとうらの白いボードを見ます（図 3）。どのように見えるでしょうか。
- (4) 同じ長さの 2 枚のヘビのカードが、位置を変えると長さが変わったように見えます（図 4）。
- (5) 左右どちらの色が濃いですか。
- (6) 矢印はどっちを向いているでしょうか。
- (7) お面があなたの顔を追いかけるように見えます。
- (8) 白黒のボードを 30 秒間見てから、そのあとまわりの壁を見ます。どのように見えるでしょうか。



図1



図2

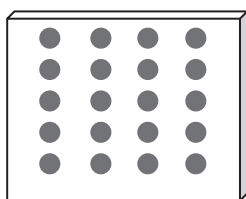


図3

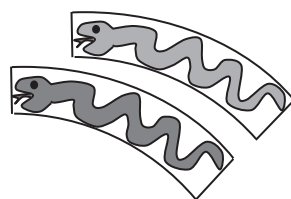


図4

●気をつけよう

やりすぎると、目と頭が疲れてしまうので注意してください。また、立って体験するときは、安全な場所で行ってください。

●もっとくわしく知るために

- ・北岡明佳著：「おもしろサイエンス 錯視の科学」日刊工業新聞社（2017）
- ・杉原厚吉監修：「鏡で変身!ふしぎ立体セット」東京書籍（2019）